

## 第38回日本口承文芸学会大会プログラム

会場：東北大学 川内キャンパス

下記サイト「仙台駅からのアクセス」参照：

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/>

### 6月7日(土) マルチメディア棟 206教室

【開会の辞】 13時 日本口承文芸学会会長 白百合女子大学 間宮史子

【公開講演】 13時10分～16時30分

「災害の経験を伝える」活動の最新動向 — 災害かたりつぎ研究塾の合宿活動をもとにして —

東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔

「語り」「聞く」という営みについて — 東日本大震災の波をくぐって —

民話探訪者・みやぎ民話の会顧問 小野和子

震災被災地にみる死者と生者の接点

東北大学大学院 鈴木岩弓

【総会】 16時30分～17時30分

【懇親会】 17時30分～20時30分 (於 東北大学生協)

### 6月8日(日)

【研究発表】 9時15分～12時30分

【第一会場】 文学部棟 1階 135教室

現在の語り活動における昔話伝承動態について — 「月のよざらし」を例に —

國學院大學大学院 原田 遼

現代における瓜子姫

立正大学大学院 藤井倫明

「張雲容」(『太平広記』ほか収録)と林羅山の「薛昭」(『怪談全書』)

— 国際説話研究から見た中国と日本の「眠り姫」(ATU410) —

京都府立大学文学部 横道 誠

都市伝説としての浦島太郎 — 赤い玉の伝説の発生と展開 —

苫小牧駒澤大学 林 晃平

【第二会場】 文学部棟 3階 311教室

アイヌ英雄叙事詩におけるkamuyについて

千葉大学大学院 遠藤志保

アイヌの「河童」にみられる日本(和人)の河童との類似性

北海道大学大学院 矢崎春菜

沼田町の河童 — 弁天公園における河童のうわさの発生、伝播、消滅の過程について —

札幌学院大学 松井佳祐

異なるものへの排除と受容 — 福井県敦賀市五幡(いつはた)の「蒙古来攻伝説」を巡って —

名古屋大学大学院 塩瀬博子

大正～昭和初期における石巻周辺の桃太郎伝説地考証活動 — 桑島正『陸奥の桃太郎実話』をめぐって —

天理大学文学部 齊藤 純

【シンポジウム】 13時15分～16時45分 マルチメディア棟 206教室

「災害と口承文芸」

司会 國學院大學 米屋陽一

「あったることをありのままに」伝えようとするさまざまな営み

— 3.11後のわれわれが、聞き語る場で出会うこと —

みやぎ民話の会 小田嶋利江

災害伝承と自然観

東北大学災害科学国際研究所 川島秀一

シベリア少数民族の口承文芸と自然災害

ロシアフォークロア研究家 斎藤君子

【閉会の辞】 16時45分

國學院大學 花部英雄